



栗田工業株式会社 (東証一部：6370)

個人投資家様向け説明資料

2018年2月21日

取締役

江尻 裕彦

1985年 4月	栗田工業（株）入社
2005年 4月	Kurita Europe GmbH 代表
2011年 4月	栗田工業（株）ケミカル事業本部第二部門コンビナート営業部長
2014年 4月	執行役員就任
2014年 6月	ケミカル事業本部営業第一部門長
2016年 4月	経営企画室長
2016年 6月	取締役就任（現任）
2017年 4月	経営企画本部長（現任）

1 企業概要

2 株主還元

3 クリタグループのビジネス

4 これからのクリタグループ

企業概要



商号	栗田工業株式会社
所在地	東京都中野区中野4丁目10番1号 中野セントラルパークイースト
資本金	13,450百万円
従業員数	5,654名（連結） 1,536名（単体）
グループ会社数	（国内）子会社 30社 （海外）子会社 23社 関連会社 2社

2017年3月31日現在

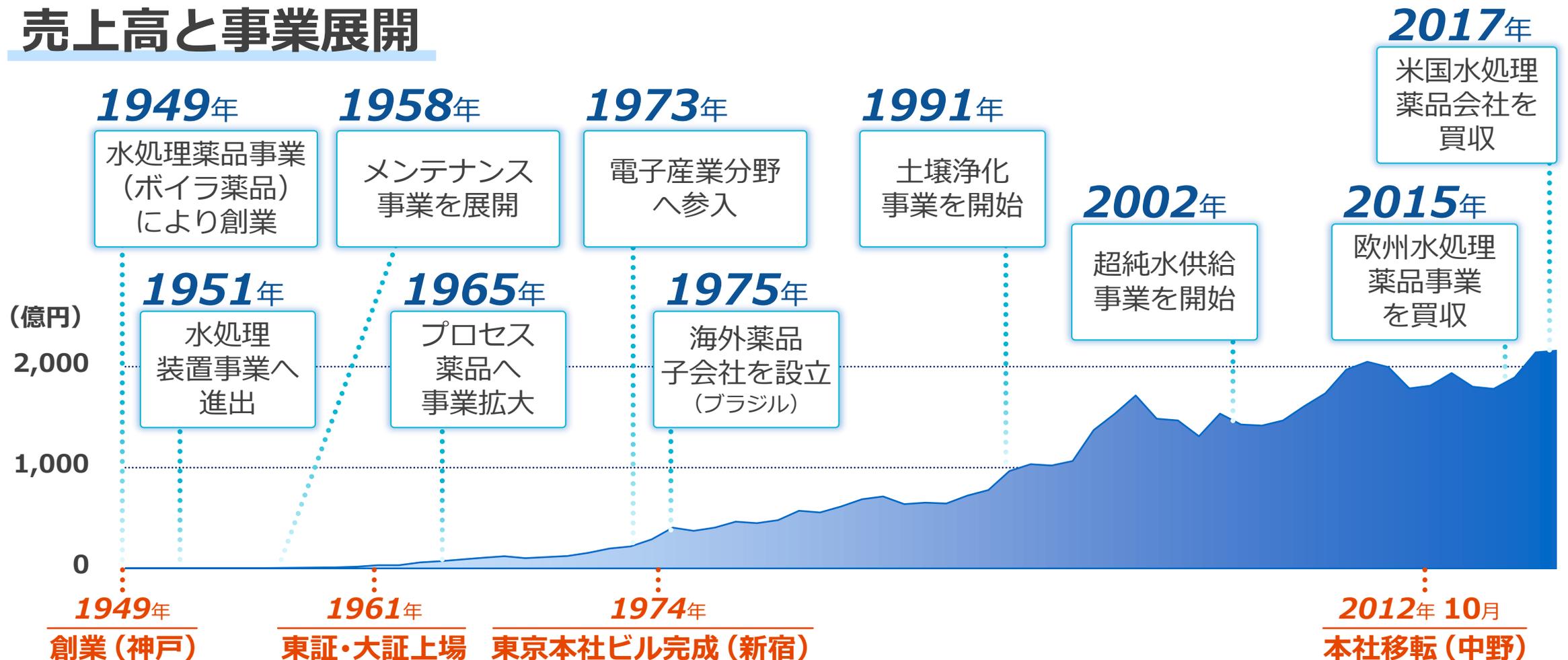
代表取締役社長
門田 道也



企業理念

“水”を究め、自然と人間が調和した
豊かな環境を創造する

売上高と事業展開



経済・産業史

戦後復興期

高度成長期

安定成長期

情報化社会進展期

I o T の萌芽期

事業構成（売上高構成比）

水処理装置



超純水製造装置



用水処理装置



排水回収装置



水処理装置の
メンテナンス



排水処理装置



土壌浄化

- 精密洗浄
- 超純水供給事業

- 化学洗浄

水処理薬品



ボイラ薬品

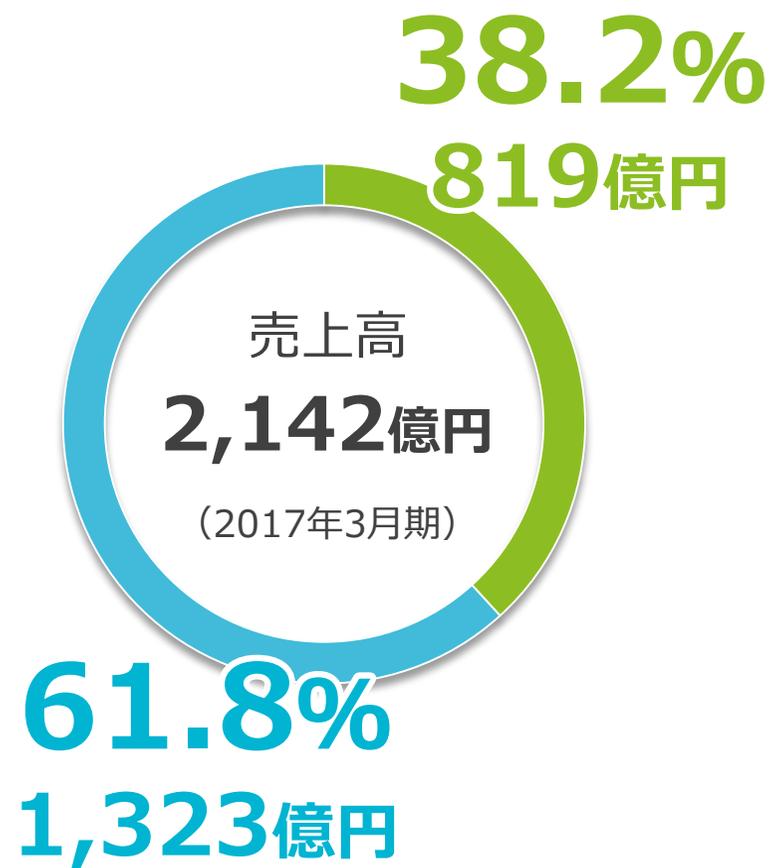


排水処理薬品

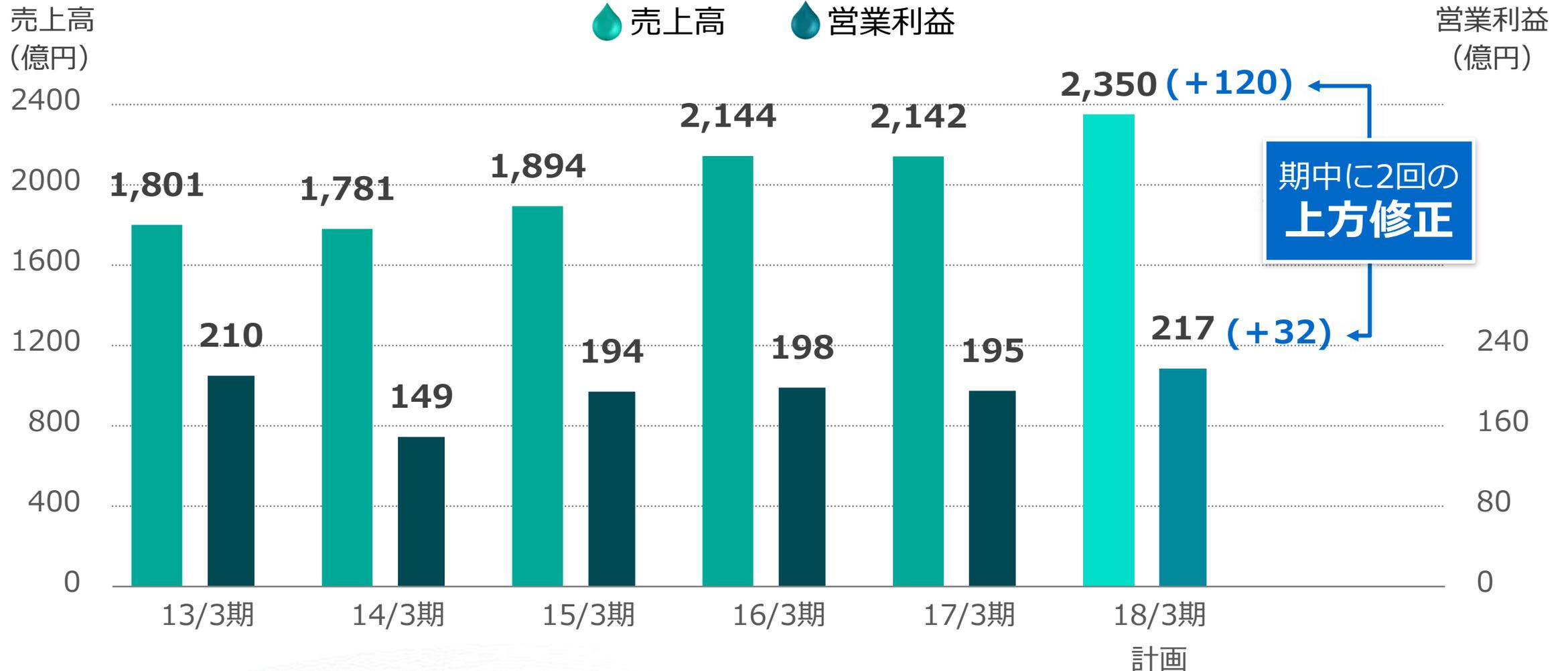


冷却水薬品

- プロセス薬品
- 契約型商品



売上高および営業利益の推移



中期経営
計画

TA-14

CK-17

株主還元

キャッシュの使いみち

950～960億円 1,020～1,030億円

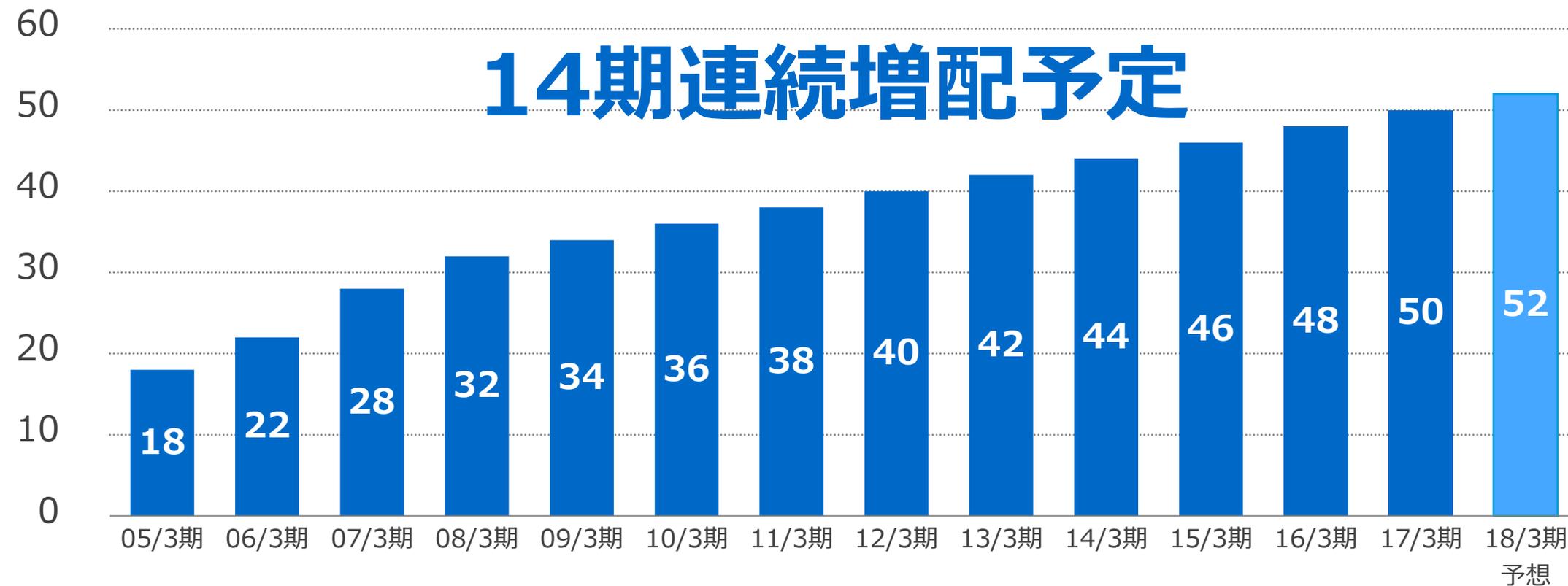
営業
キャッシュ
フロー

配当	5年通算の配当性向で30-50%を目途に増配継続に努める。
自己株式取得 M&A	有望な事業への投資を優先し、余剰資金による自己株式取得も検討。 自己株式取得実績 ……▶ 2017年3～5月：100億円 2015年4月：10億円 M&Aを検討。
設備投資	国内外における超純水供給事業などへの投資。

キャッシュの創出 キャッシュの使いみち
(2016年3月期～2018年3月期 3年累計)

- 運転資金と予備的資金を確保したうえで、余剰資金と自己資本の増加抑制に努める。
- 株主資本コストを上回るROEの維持とさらなる向上を目指す。

(円) ■ 1株当たりの配当金

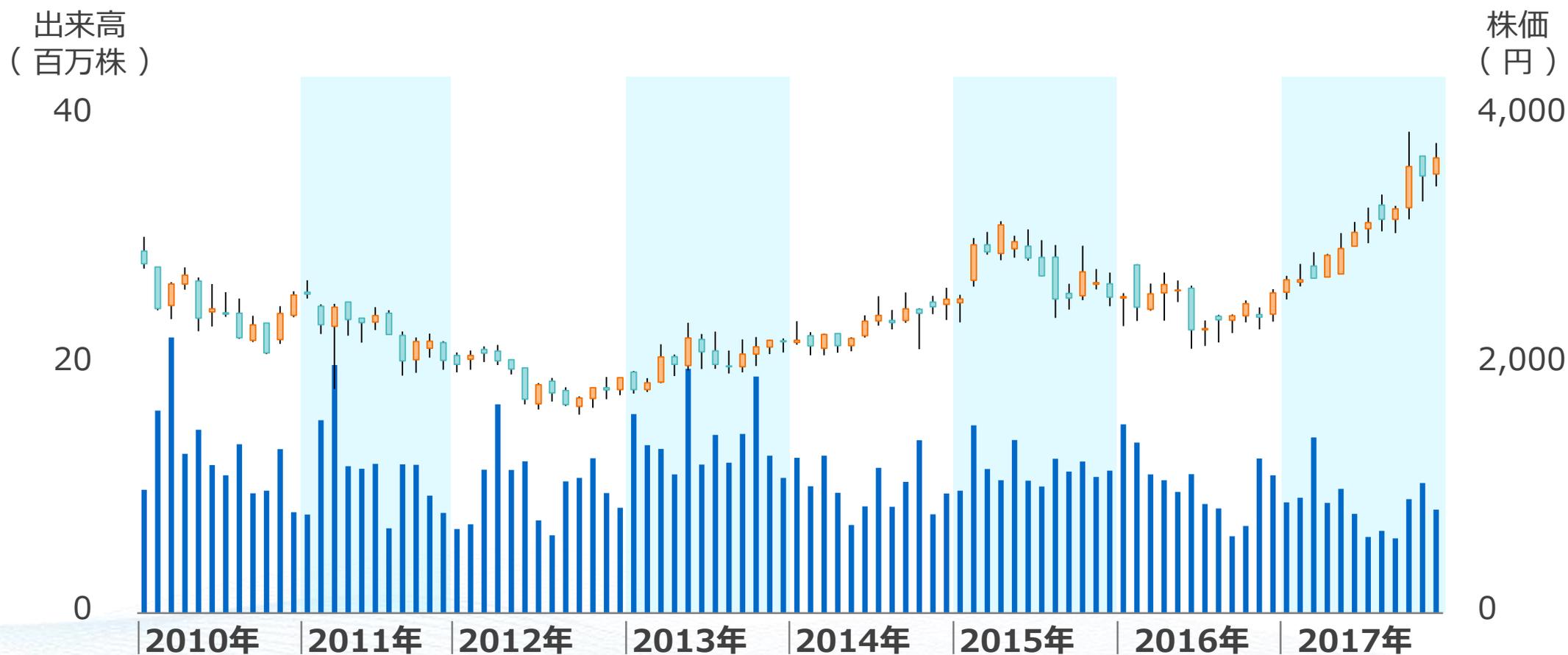


配当に関する
基本方針

安定配当の継続を基本方針とし、直近5年間通算での配当性向は
30~50% を目安として増配の継続に努めます。

株価動向

株価	単元株式数	必要投資金額	市場
3,660円 (2017年12月29日現在)	100株	366,000円	東証1部



「水のクリタのうまい水」 選べるおいしさ2種類

朝のめざましに

快適な朝を迎えるのに
ぴったり。

ごはん

ごはんをおいしく
ふっくら炊くのなら。

お茶やコーヒーに

スッキリした
のどごしでおすすめ。

ミネラル
100



1パック1.5L×6パック
(1ケース)

ミネラル
200



1パック1.5L×6パック
(1ケース)

1セット (2ケース)

スポーツのあとに

スポーツで汗をかいた
あとはミネラル補給。

パンやピザの生地に

さっくり、ふんわりとした
生地を作るのに最適。

水割りに

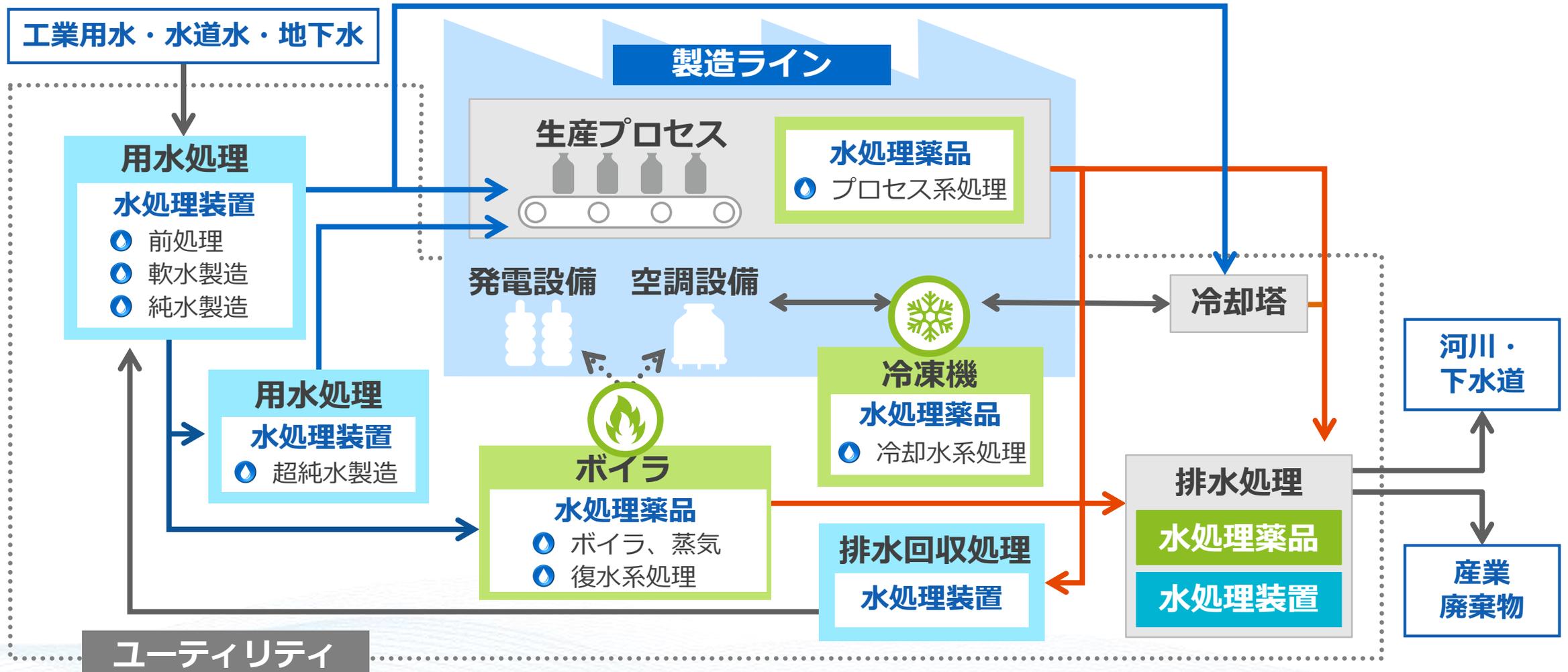
マイルドな口当たりで
おいしく。

※加えて長期保有優遇制度あり(3年以上かつ1,000株以上ご所有の株主様)

クリタグループのビジネス

水処理の対象

工場の入口から出口までトータルでソリューションを提供



安定した事業基盤を構築

2017年3月期国内単体実績
(売上高ベース)

商品別構成



業種別構成



成長が期待される電子産業向けを中心にあらゆる産業が対象

装置事業売上高構成

ハードウェア

- 発電所向け用水製造システム
- 飲料用水製造システム
- 医療用水製造システム
- 排水処理装置
- 排水回収システム

サービス

- メンテナンス・運転管理
- 土壌浄化
- 化学洗浄工事

ハードウェア

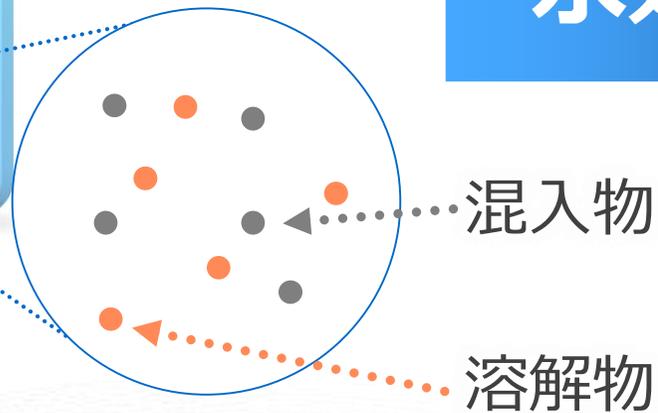
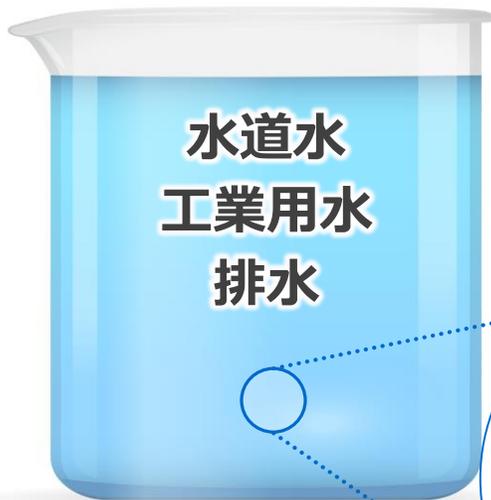
- 超純水製造システム
- 排水処理装置
- 排水回収システム

サービス

- メンテナンス・運転管理
- 精密洗浄
- 超純水供給事業



水質を目的にあった最適な状態にすること



水処理

半導体・液晶・有機ELの
洗浄

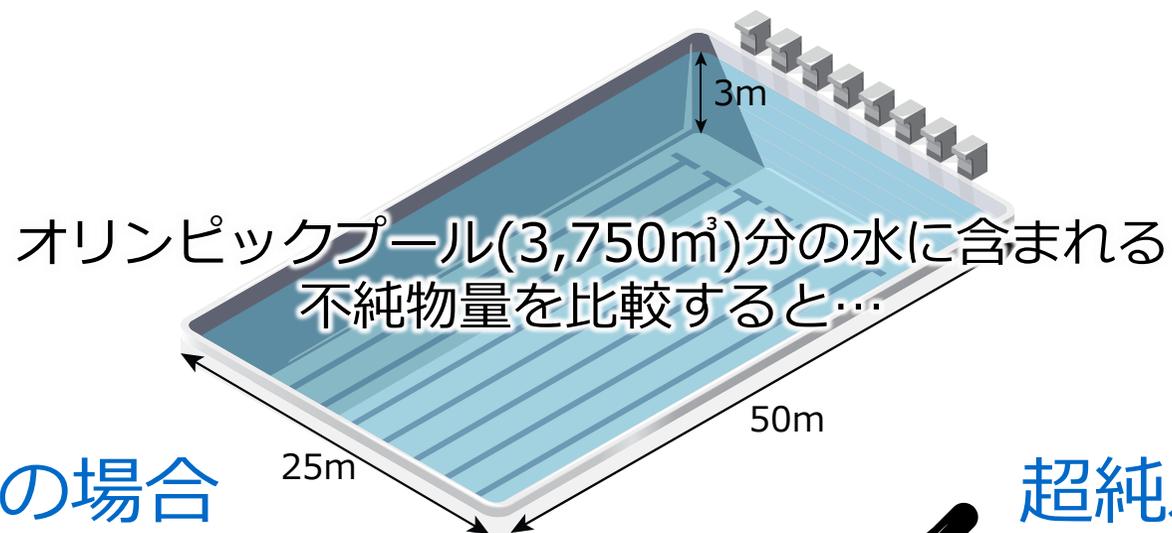
工場の設備障害防止・
運転効率アップ・
省エネルギー

排水規制・環境への対応

水処理とは ～超純水～

半導体・液晶・有機ELの洗浄

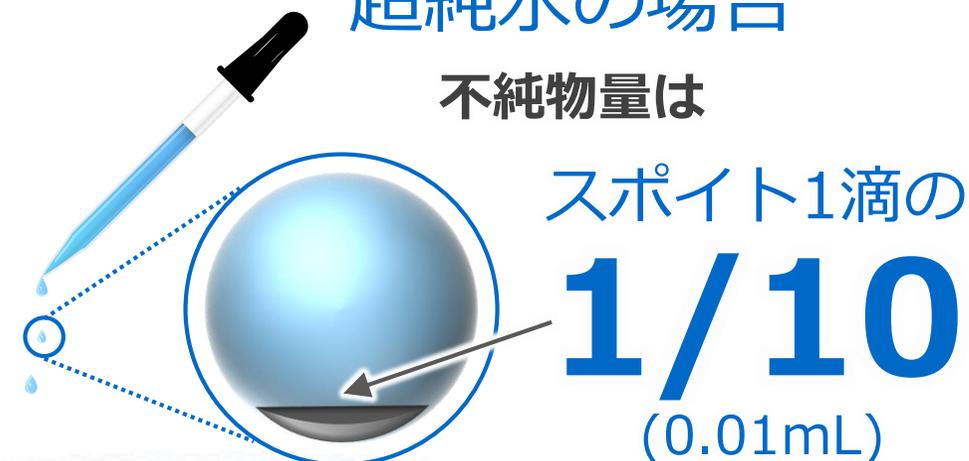
不純物量の比較



水道水の場合



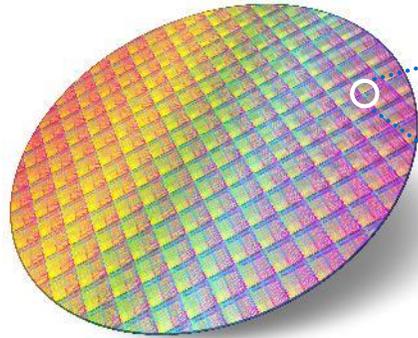
超純水の場合



水処理とは ～超純水はなぜ必要なのか～

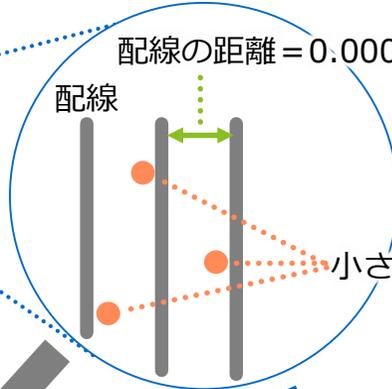
半導体・液晶・有機ELの洗浄

半導体ウエハー



配線の距離 = 0.00002mm以下(髪の毛の太さの約1/1,000)

配線

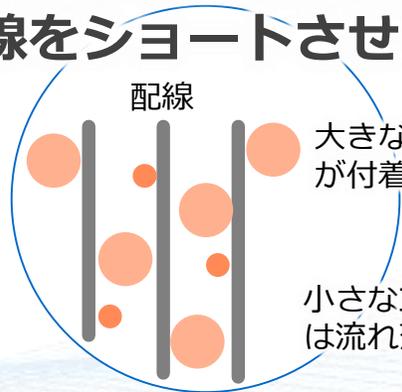


小さなゴミ(粒子)

水道水で洗うと

超純水で洗うと

水道水内の目に見えない粒子などが回線をショートさせてしまう

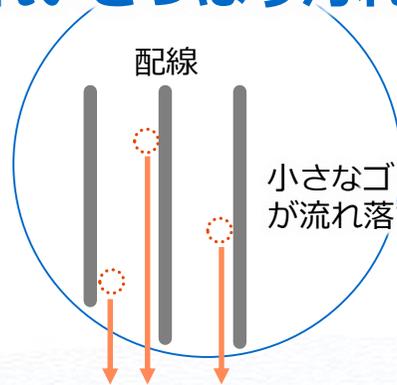


配線

大きなゴミ(粒子)が付着する

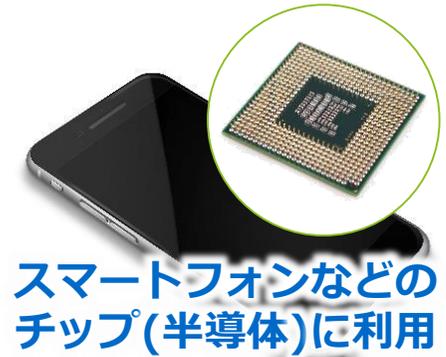
小さなゴミ(粒子)は流れ落ちない

きれいさっぱり汚れなし



配線

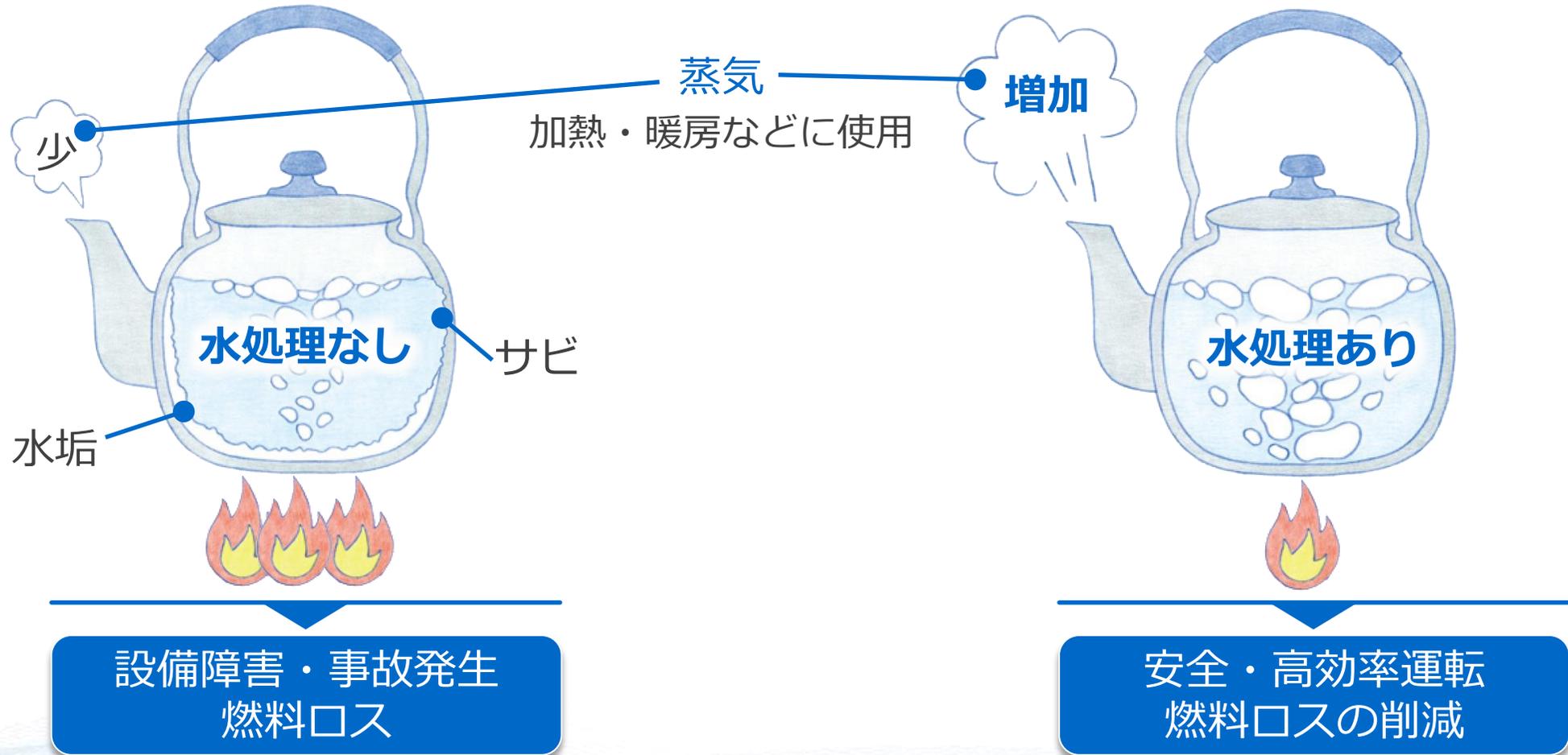
小さなゴミ(粒子)が流れ落ちる



スマートフォンなどのチップ(半導体)に利用

水処理とは ～ボイラの水処理～

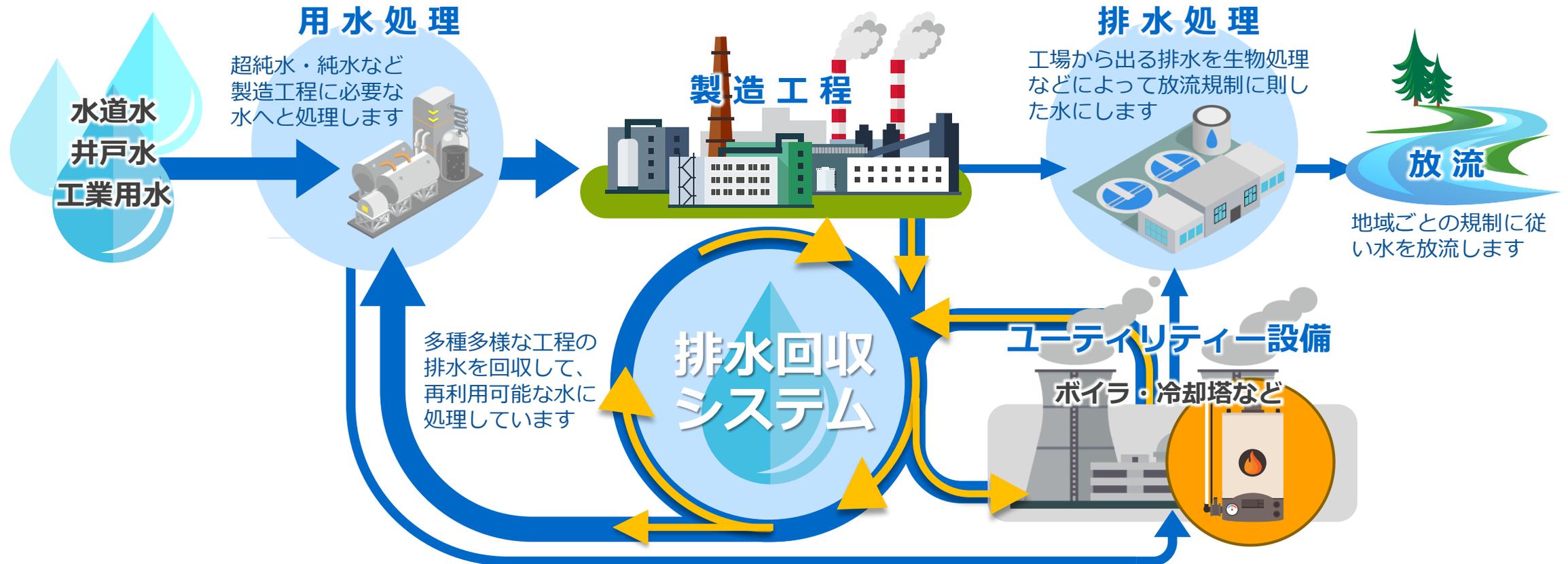
工場の設備障害防止・運転効率アップ・省エネルギー



水処理とは ～排水回収～

排水規制・環境への対応

企業にとって「節水」は、重要な経営課題



- 回収率70～80%という高いレベルで排水を再利用
- 液晶パネル工場では、ほぼ100%の回収を実現

事業の特長 ～コンサルティング型事業～



事業の特長 ～超純水供給事業のしくみ～



設備の建設

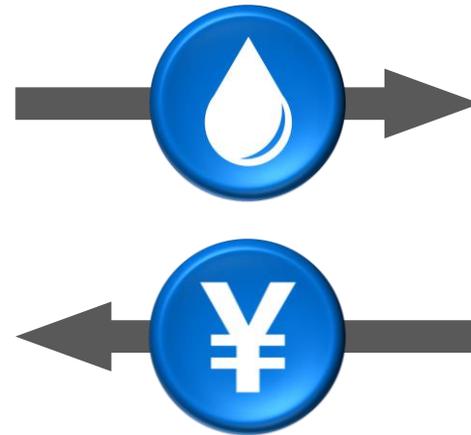
保有

運転管理

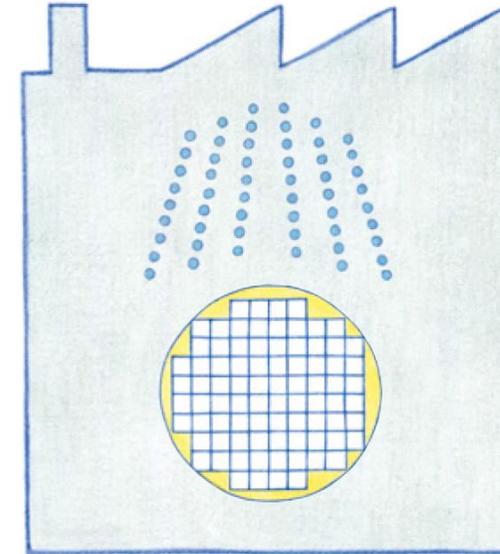
メンテナンス

長期契約の締結

安定的な収入



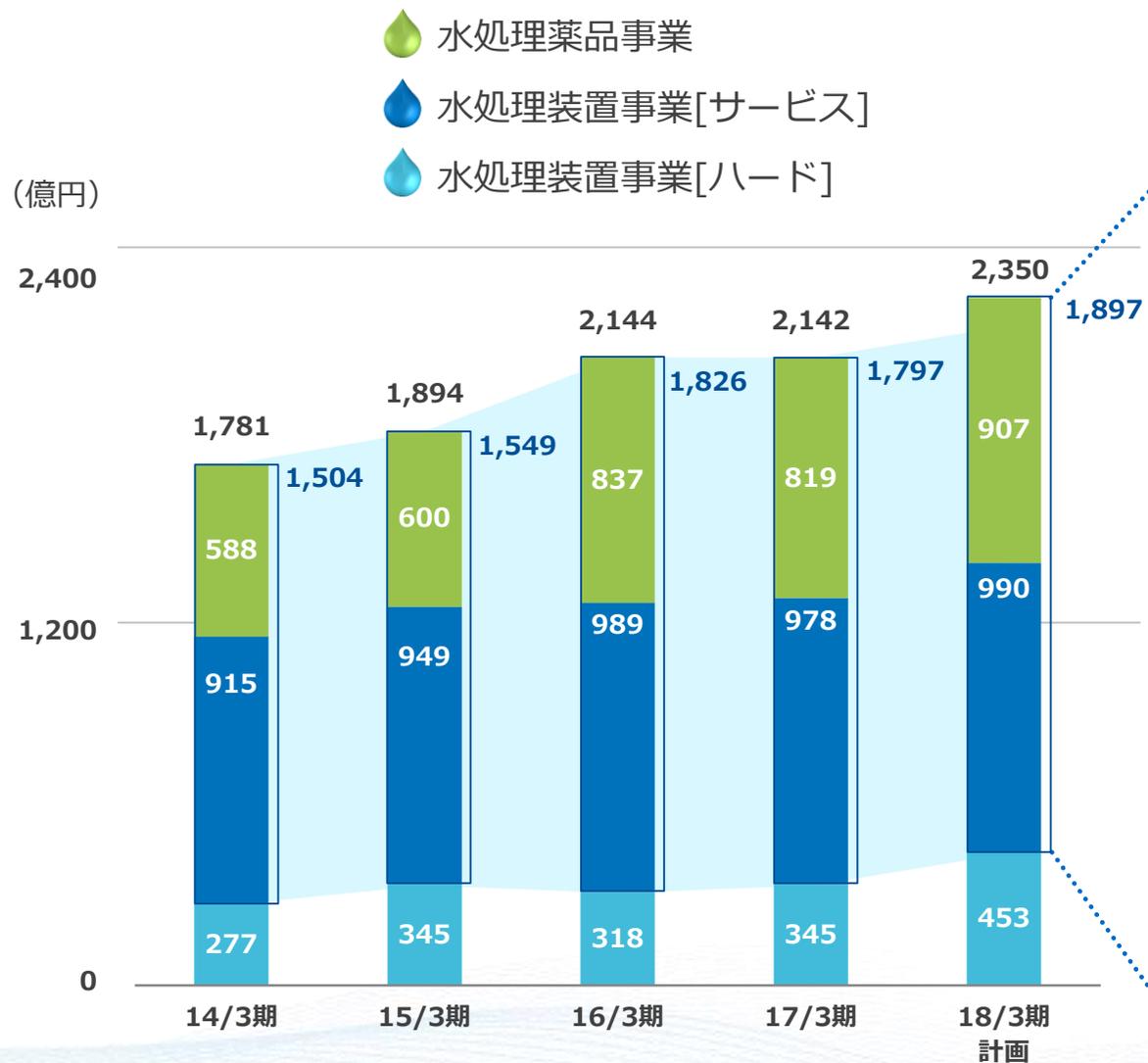
お客様の製造棟



初期投資不要・
運転管理コストの平準化

経営に集中

事業の特長 ～高いサービス事業比率～



安定した収益を生む
サービス事業の比率 **80.7%**



水処理薬品事業



超純水供給事業



精密洗浄事業



土壌浄化事業



メンテナンス・
運転管理ほか

これからのクリタグループ



IoTの普及

- 中国における重厚長大から半導体産業へのシフト
- 日本における電子部品産業の活況

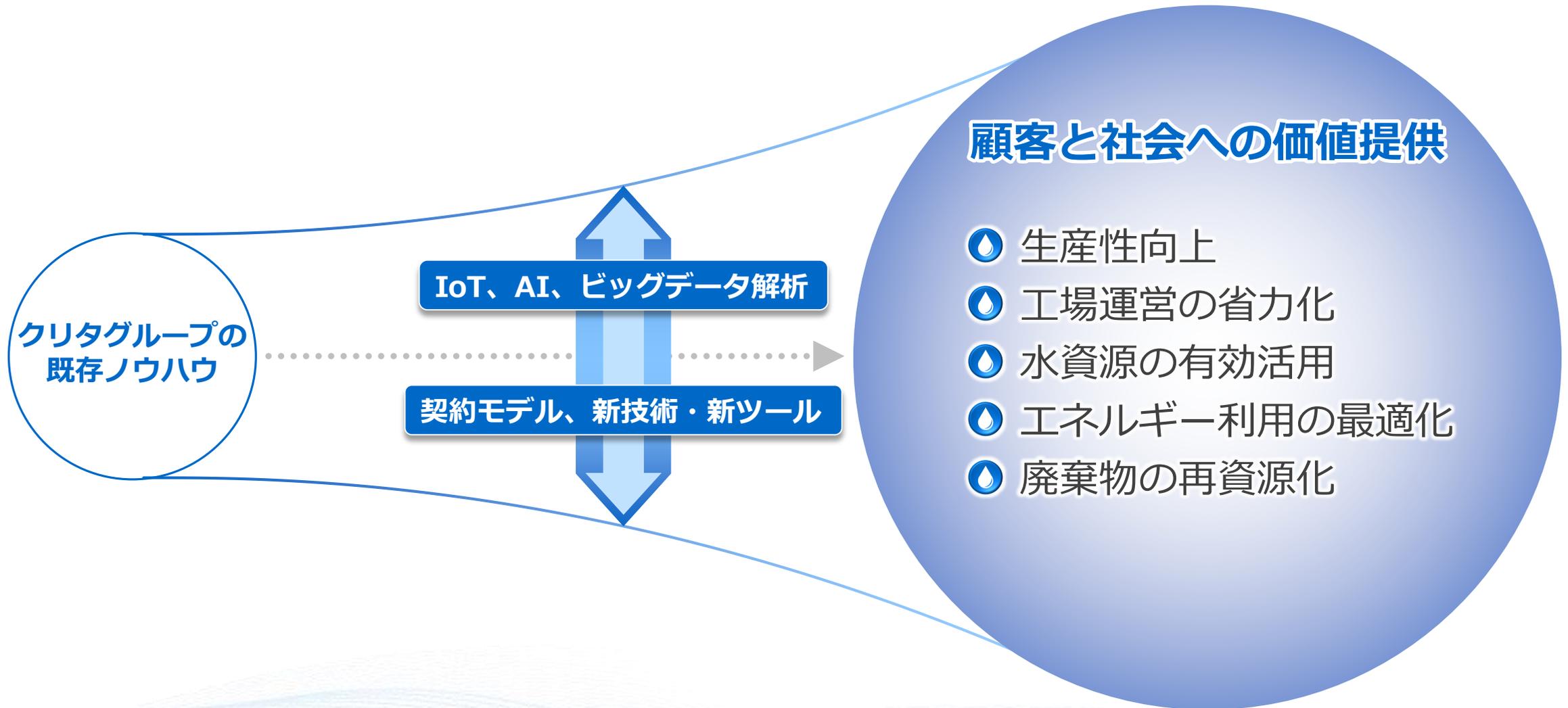


環境規制強化・サステナビリティの推進

- 中国の化学工場で排水基準の厳格化
- 環境課題・社会課題に取り組む世界的な潮流

クリタグループのビジネスに追い風

- 事業基盤がある日本・中国・韓国におけるビジネス機会の拡大
- 半導体製品の高度化に伴い、より高度な超純水のニーズの増加
- 水処理ニーズの顕在化





クリタ・ヨーロッパGmbH



欧州生産体制の拡充

Akzo Nobel社から紙・パルプ向けプロセス薬品の生産拠点（仏）取得を決定

▶ クリタ・ヨーロッパGmbHの紙・パルプ向けプロセス薬品事業の拡大と収益性改善をめざす

北米事業拡充に向けた探索

M&Aを活用した水処理事業基盤の拡充



フレモント・インダストリーズ, LLC

韓国における事業強化

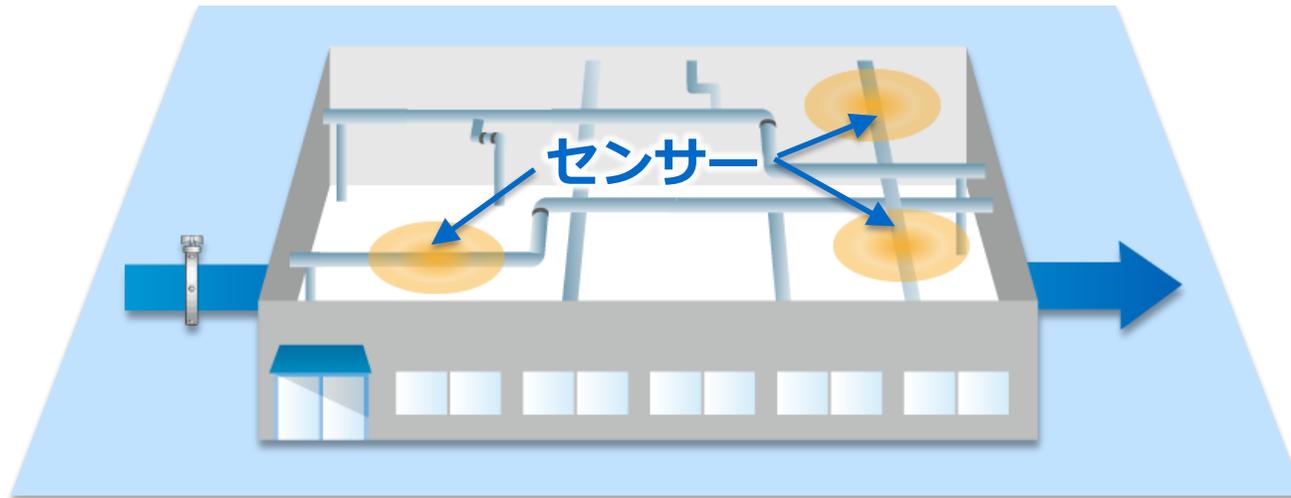
持分法適用会社である韓水Co.,Ltd.を連結子会社化

事業基盤の整備

- グループ内の緊密な連携
- アライアンスとM&Aの活用



水使用状況を見える化し、節水・管理



水使用削減効果

年間

約 **20%**

(米国大手総合小売チェーンの事例)



モニタリング



分析



現場へ送信

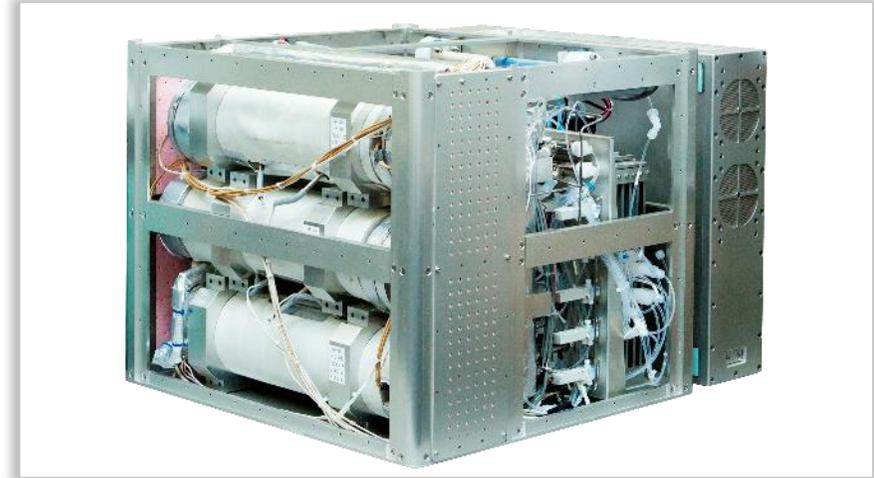


対応

総合スーパー・ショッピングモールなど大型商業施設へ展開



国際宇宙ステーション



地上実証装置

- ④ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）との共同研究により開発
- ④ 宇宙空間で使用される水を回収し循環利用

ご清聴ありがとうございました

ホームページ

<http://ir.kurita.co.jp/>

お問い合わせメールアドレス

ir@kurita.co.jp

本資料は会社紹介を目的として制作しております。

投資判断はご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

